

障害について理解を深めよう 障害ってなんだろう？講座



▲グループワークでは様々な意見が飛び交い、制限時間をオーバーすることも。

12月9日福祉センターを会場に、町内出身で自身も全盲の障がい者である佐藤尋宣さん(ドラム演奏者・(一社)SDソリューションズ代表)を講師に迎え、「障害ってなんだろう？講座(主催:大河原町社会福祉協議会)」が行われました。

当日は21名のかたが参加し、4つのグループに分かれて障害に関する様々なテーマに対してグループワークを行い、楽しみながらも真剣に話し合っていました。特に「障害とは何か」というシンプルながら難しいテーマに対しては、とても白熱した議論が交わされ、『障害』に対する理解がより一層深まっているようでした。

税金の必要性を学ぶ 大河原小学校で「租税教室」開催

12月15日、大河原小学校の6年生の児童を対象に、税金の意義や役割を学ぶための「租税教室」が開催されました。講師は役場税務課の職員が務め、消費税など身近な税金の話題をはじめ、学校の備品などは税金によって賄われていることや、税金がなくなるとどうなるかをテーマにしたアニメDVDなども交えて、児童にわかりやすく説明しました。そのなかで、「小学生から高校生までの12年間で1人あたりに使われる税金は約1,100万円」という説明では、児童から「1,100万円?」とあちこちから驚きの声飛び交っていました。

教室の最後に代表児童から、「税についてこれまであまり考える機会がありませんでしたが、今日の教室で税金が身近なものにも使われていることを知りました。」と感想が述べられました。



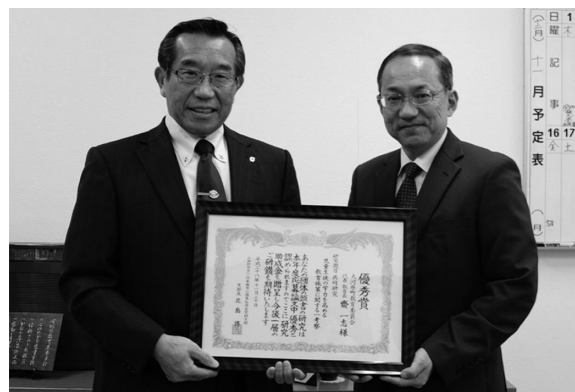
▲講師の説明を聞きながら、税金の必要性のポイントをメモする児童。



▲1億円の实物大見本を手にして「うね、重い!!」と、予想以上の重さにびっくり。

学力向上を考える

第45回教育研究論文優秀賞受賞



▲町内小中学生の学力向上に意欲的に取り組む教育長(左)と千葉学校教育専門監(右)。

教育現場などの教育課題の解決に向けた教育実践を支援し、みやぎの教育振興を目的に開催されている「第45回教育研究論文(主催:公益財団法人日本教育公務員弘済会宮城支部)」において、多数応募された論文のなかから、大河原町教育委員会で応募した論文「児童生徒の学力を高める教育施策に関する一考察」が共同研究部門の「優秀賞」を受賞しました。

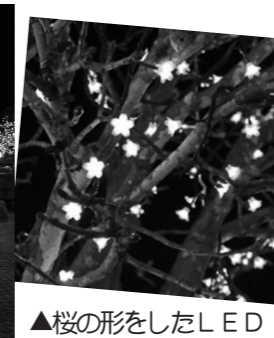
町内では、大河原小学校より応募された論文「学力向上に関する取組について」も、同じく共同研究部門の「優秀賞」を受賞しています。そうした町内教育関係者の皆さんのこれまでの努力もあり、平成28年4月19日に実施された文部科学省の「全国学力・学習状況調査(対象:小学6年と中学3年)」において、大河原町内の小学生の学力は全国上位の結果が出ています。今回の受賞も踏まえ、町内小中学生の更なる学力向上への期待が持たれます。

おおがわらの冬の風物詩!? おばんなりスター★大河原☆

今年も駅前広場にイルミネーションが点灯されました。おばんなりスターは平成20年から毎年実施されており、今年も12月9日から翌年1月15日まで午後5時から11時の間点灯します。今年も恒例となったマロニエやトウカエデの木に施された桜色のLEDイルミネーションのほか、光りのトンネルや昨年よりパワーアップしたさくらっきーのイルミネーションなどが、皆さんをあたたく迎えてくれます。ぜひ、期間中に足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲幻想的な光りに包まれるトンネル。



▲桜の形をしたLEDを探そう!!



▲光りに彩られたさくらっきーも待ってるよ。

尊重しようお互いの気持ち 全国中学生人権作文コンテスト表彰

人権尊重の普及啓発活動の一環として毎年実施される「全国中学生人権作文コンテスト」大河原地区大会入賞者のうち、大河原町内入賞者の表彰が11月25日、大河原中学校で行われました。

大河原地区大会では今年度、1193編もの作品が寄せられ、そのうち入賞したのは6作品となりました。町内入賞者の原田里桜さん(大河原中学校3年生)の作品は「人は、皆自由であり平等」という強い思いが込めてあり、人権について改めて考えさせられる内容でした。



▲表彰状を掲げる原田里桜さんを囲んで、仙台法務局橋本大河原支局長(右)と大河原中学校菊池校長(左)。

ふるさと大河原町をPR 2016みやぎふるさとCM大賞

県内の市町村がその魅力を30秒のCMに込めて発信し合う「みやぎふるさとCM大賞(主催:KHB東日本放送)」の発表審査会が、11月29日イズミティ21で開催されました。

今年の大河原町の作品「一目千本桜物語」は、今年4月に結成20周年を迎える「大河原町さくらの会」の全面協力により製作されたもので、大河原町の桜の見どころを30秒のなかに凝縮された作品となりました。

なお、審査会の模様は、1月3日午後4時5分からKHB東日本放送で放送される予定ですので、ぜひご覧ください。



▲審査会に参加した大河原町さくらの会会長原田真さん(右)と製作全般を担当されたさくらの会相談役の大浦利昭さん(右から2番目)、町職員および町観光物産協会職員。